

図書館だより

2016

2・3月号

CONTENTS

1. Recommend books おすすめ図書
2. 春休みの長期貸出実施中
3. News①ビブリオバトル開催!
4. News②一部サービスの休止について
5. News③企画展示のご案内
6. Report ライブラリー・アテンダント活動報告

9:00-21:00

9:00-17:00

休館日

2月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

3月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

1. Recommend books おすすめ図書

熊本 早苗 先生（盛岡短期大学部/国際文化学科） 紹介図書



『本を読む人だけが
手にするもの』
藤原和博 著

日本実業出版社(2015年)
所在 <3F開架 019:フ>

本書は、「これから先の日本では、身分や権力やお金による“階級社会”ではなく、『本を読む習慣がある人』と、『そうでない人』に二分される“階層社会”がやってくるだろう」という論を実に明快に展開しており、「成熟社会では、本を読まない人は生き残れない」(序章)とさえ言い切っている。本書の魅力は、従前の読書論や処世術、幸福論や希望学にはないコンテンツが豊富なことであろう。企業と教育界の両方を経験し、海外駐在により異文化も経験した著者ならではの説得力がある。そして、「20世紀型の成長社会が象徴する『みんな一緒』という時代から、21世紀型の成熟社会が象徴する『それぞれ一人一人』という時代が変わった」(15)今、未来を担う若い方々には必読の価値ある一冊といえるのではないだろうか。

「本を読む学生」と「本を読まない学生」が参加した筑波大学のとある研究調査の事例紹介が著者の論点に根拠を添える。「ネットだとキーワードで調べたものしかヒットしないという面があるのに比べて、本は検索では結びつかないようなものも拾ってこられる」(29)と語る学生が登場する際、ネット社会だからこそ、実際に本を手取る重要性、もしくはその読書体験でしか得られないことが見えてくる。(参照:NHKクローズアップ現代、「広がる読書ゼロ」 2014年12月10日放送)

著者は「20世紀型の成長社会」=「ジグソーパズル型思考」と、「21世紀型の成熟社会」=「レゴ型思考」と区別し、両者を比較考察している。従来の日本社会では、たった1つの「正解」に早くたどり着くことが求められていたのに対し、これからの社会では、「みんな一緒の正解はない」と著者は力説する。換言するならば、国際的な成熟社会で求められてくるのは、柔軟性であり、変化自在なスキルや応用力であり、「一人一人が、自ら納得する解をつくり出す」力となるのだろうか。

巻末には推薦図書一覧もあるが、個人的には、科学的な視点から読書の効能について研究している酒井邦嘉による著書『脳を創る読書——なぜ「紙の本」が人にとって必要なのか』(実業之日本社、2011年)を薦めたい。新たな年、「本を読む人だけが手にするもの」を、私たちも手にしていこう。



『闇の左手』
アーシュラ・K・ル・グイン著
小尾芙左訳

早川書房(1978年)
所在 <4F開架 933:ル>

アメリカ合衆国において男女共同参画やジェンダー役割の公正について活発な議論が交わされていた1960年~70年代に出版された本書は、SF小説やユートピア論の古典として位置づけられることが多いが、実は「ポストモダン的な語り」として近年その作品評価が再度注目されている。

雪と氷に閉ざされた極寒の惑星ゲセンでは、太古に遺伝子実験が行われた結果、そこに住む人々はすべて両性具有となっている。すなわち、ゲセン人は性の活動期(ケメル)と、不活動期(ソメル)を誰もが共有し、活動期(ケメル)にはどちらか一方の性の役割を受け持つことができる。その様子は次のように描写される。「つまり重荷も特権も、すべての人がほぼ同等に分ち与えられる。すべての人が同等の危険、同等の選択の機会をもっている」(119)。興味深いのは、両性具有の惑星ゲセンに、男性女性それぞれ明確な役割分担を持つ異邦人が外交を拓くために訪問し、そこで性の違い(あるいは両性具有であること)を説明する場面であるが、もちろんその詳細は本書で確認されたい。そして、両性具有となった歴史が明かされるにつれ、自然環境の影響が見えてくる。

光と闇、太陽と影、男と女、生と死、恐怖と勇気、背信と忠誠、左手と右手というように、対立項目が複雑に絡み合い、両極や拮抗を意味する二元論を超越する次元へと物語は進んでいく。相反するものが、それぞれの特性を引き出すためには何が必要なのか。自己の中に他者がおり、他者の中に自己がいるという感覚は何を示しているのか。

本書は、「みかた」を広げ増やすことにつながる。「みかた」には2つの意味がある。他者と世界観を共有することの困難を経て得られる新たなモノの「見方」。そして、敵さえも「味方」と変化していく可能性。翻訳版を読破後には、原書で「見方」を広げ「味方」を増やして欲しいと願う一冊である。

2. 春休みの長期貸出実施中

返却期限	4/10(金)	実施期間	1/27(水)~3/18(金)
対象者	学生、院生	貸出冊数	10冊

3/20(日)~31(木)は休館となります。

この機会にぜひ長期貸出をご利用ください。

休館期間中の返却につきましては、本部棟1階裏手の守衛室にある返却ポスト、または図書館入口の返却ボックスをご利用ください。

卒業予定者は長期貸出対象外です。

3月で卒業予定の方は、**3/31(木)まで**忘れずに
図書の返却をお願いします。



3. News① ビブリアバトル開催！

ビブリアバトルとは？

発表者が読んで面白かった本を5分間ずつ紹介し合い、最後に「どの本が一番読みたくなったか？」を参加者同士で投票しチャンプ本を決める書評会です。
2010年より毎年、大学生の全国大会も行われています！

開催日時 平成28年2月18日(木)13:00 (開始)
場所 多目的スペース 風のmont

募集要項

参加資格 岩手県立大学に在籍する学生・院生・教職員
必要なもの ビブリアバトルで紹介したい本(メディアセンターの本でもOK)
応募方法 メディアセンター内に設置してある応募用紙に記入しカウンターへ持参、またはメディアセンターHPの申込専用フォームからご応募ください。
応募締切 **2月15日(月)必着**

チャンプ本に選ばれた学生(※)には、メディアセンター長賞として**図書カード3,000円分**を贈呈！ (※)学生・院生に限らせていただきます

この本を紹介したい、この本の面白さを誰かと共有したいという気持ちがある方は、ぜひご参加ください！



バトルの観戦者も募集します。
(当日自由参加)
最後に「一番読みたくなった本」について投票していただきます。

展示中の本たち (ほかにもまだまだあります！)



4. News② 一部サービスの休止について

蔵書点検作業等のため、下記の期間を休館とさせていただきます。休館中においては、図書の貸出を休止いたします。必要な方はお早めにご利用ください。

また、下記サービスを休止いたします。

ご迷惑をおかけしますが、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

■ 休館期間

3月20日(日) ~3月31日(木)
(4月1日(金)より開館予定です)



■ 休止するサービス

対象者	休止するサービス	今年度受付
全利用者 (学内者のみ)	資料予約(研究室所蔵)	2月12日(金) お申込分まで
学生・院生	現物貸借依頼	2月29日(月) お申込分まで
	文献複写依頼 学生図書リクエスト	
教職員	文献複写/現物貸借依頼	3月11日(金) お申込分まで
全利用者	資料予約(メディアセンター所蔵)	

休館期間中の返却につきましては、本部棟1階裏手の守衛室にある返却ポスト、または図書館入口の返却ボックスをご利用ください。

5. News③ 企画展示のご案内

ライブラリーアテンダント(LA)による企画展示を開催中です。今回のテーマは、『教科書に掲載された文学』です。小学校から高校までの国語の教科書に掲載された文学に焦点をあて、LAが選書した本を展示し、貸出を行っています。今読むとまた違った見え方があるかもしれません。ぜひ手にとって、読んでみてはいかがでしょうか？



展示期間：平成28年1月末~5月末まで
展示場所：3階中央 企画コーナー

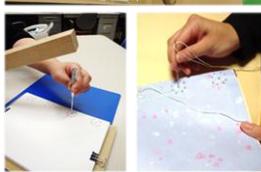


6. Report ライブラリー・アテンダント活動報告

皆さん、こんにちは！総合政策学部4年の武田です。昨年12月16日に開催された、和綴り講習会についてレポートします。

皆さんは、和綴りの本を見たことがありますか？和綴りは、日本に古くから伝わる本の綴り方で、糸を使って紙を綴じます。当日は、講師の先生ご指導の元、和綴りの雑記帳をつくりました。特に、紙の束に穴を開けたり、その穴に糸を通したりする作業が大変でした。参加者のほとんどが作業に苦戦し、講習終了時間ぎりぎりまで張り詰めた雰囲気覆われていました。

完成した雑記帳は、綴り目が花の形になっていて、とてもきれいな仕上がりとなりました。大切に使いしていきたいと思えます☆



総合政策学部3年の平出です。今回は図書館3Fにある新聞コーナーについて紹介します。

新聞を読まなきゃ！と思っても、定期購読はちょっと…という方におすすめです。ネットニュースも便利ですが、社会情勢が一目でわかるという面では新聞が便利かも…？社会を知るにも就職活動にも役立つ新聞。全国紙、東北の地方紙、海外紙があります。空きコマや放課後などにぜひ一度手にとってみてください！



図書館だより
2・3月号(第58号)
(平成28年2月1日発行)

編集・発行
岩手県立大学
教育研究支援室
図書グループ

TEL: 019-694-2070
FAX: 019-694-2071